

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%  
保護者様： 31名回答、回答率 82%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・死角を作らないようにしている。
- ・運動系の遊びと工作系の遊びをするスペースを分けている。
- ・室内の整理整頓をする。
- ・お互いの情報を共有して、休み等が重ならないようにする。

### ○業務改善

- ・教室運営に関わる事務作業については、改善点等の報告や共有を行っている
- ・業務前MTGを行い、振り返りを実施。改善点を共有し話し合っている
- ・各家庭にアンケート回答の促しを行った

### ○適切な支援の提供

- ・社内の虐待防止の研修を受けている。
- ・できあがった個別支援計画の目標を、スタッフ一同で話し合う
- ・固定化した活動と新しい活動を毎月分配している
- ・月ごとにテーマを決め、スタッフで分担している。
- ・長期休暇時は学習タイムと運動タイムを設けている
- ・工作等時間に余裕がある時と短い時の内容を変えている
- ・児童それぞれの状況に合わせた個別目標と全員にはないが、それに合った集団活動にしている
- ・情報を全職員が共有できるようノートに残している。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・必要に応じてケース検討を行い、支援計画を期間中に変更することがある
- ・家庭連携加算を算定し、それぞれのご家庭に合った話し合いをしている。
- ・それぞれの学校の予定を毎月把握している
- ・保護者から引き継ぎ書のコピーをもらうようにしている（初回利用時）
- ・学校お迎え時に先生と情報を共有するよう努めている

### ○保護者への説明責任等

- ・心理士等による家庭連携支援を実施している。
- ・運営に変更がある場合は即時連絡。（書面にて必要な情報を共有）
- ・保護者からのご意見については職員間で共有している。

### ○非常時等の対応

- ・緊急時マニュアルのみ保護者と共有済み
- ・毎月避難訓練を行っている
- ・定期的な教室内研修と虐待防止研修の実施

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

- ・教室の様子を見ていないのでわからない。
- ・環境・体制整備に関しては満足している。という保護者のご意見をいただいた。

### ○適切な支援の提供

- ・児童館等との交流はコロナ禍の影響もあり難しかったと思う。
- ・支援計画や活動プログラムに関しては満足している。という保護者のご意見をいただいた。

### ○保護者への説明等

- ・保護者会はコロナ禍の影響や保護者の仕事の都合もあり難しかったと思う。
- ・保護者同士の交流はあったら良いのご意見をいただいた。
- ・困ったことがあった時、すぐに対応してもらった。
- ・日々の支援についての情報共有に関し、満足度が高いご意見を8割以上いただいた。

### ○非常時等の対応

- ・8割の方から満足しているというご意見をいただいた。
- ・教室の様子を見ていないからわからないというご意見もいただいた。

### ○満足度

- ・通うのをとても楽しみにしている。満足しているというご意見を8割以上いただいた。
- ・子どもについての相談がある時には、すぐに対応・相談にのっていただけた。というご意見もいただいた。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・運転手の配置と安定した職員体制。
- ・保護者会の開催、保護者交流の取り組み。
- ・苦情窓口の周知。

### ○改善できた点・まだ残る課題

- ・避難訓練や避難時対応の周知。
- ・保護者会が実施できないため、代わりに教室だよりを発行して教室の様子をお知らせした。もっと頻度を高めてもよかった。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・児童の満足度が非常に高いこと。
- ・保護者との情報共有が密に出来ていること。
- ・支援計画が子どもと保護者のニーズに合っていること。
- ・活動プログラムの満足度が高いこと。

### ○改善点

- ・課外活動の機会を設けることができなかった。
- ・保護者会や地域交流の機会を設けることができなかった。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・土曜日や長期休暇に課外活動に行く機会を増やしていく。
- ・保護者会の実施や地域と関わる機会を増やしていく。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・土曜日や長期休暇の永井在室時間を利用し、公園や地域の施設への外出の機会を設ける。児童とも外出先について相談し、楽しめる外出先を選定していく。
- ・感染症対策を講じた上で、来年度1回以上は保護者会を実施する。教室の近隣だけでなく、他教室も交えながら教室以外の場での交流が持てる機会を作る。